

# 弁天横丁再生プロジェクト



## 弁天長屋再生へのご支援のお願い

現在、川越蔵の会が改修事業に取り組んでいる場所は、喜多町弁天長屋の「悦」という小料理屋が入っていた建物です。この建物は四軒長屋ですが、当初は、「埼玉縣重要物産陳列所」として建てられた可能性が高い建物です。「悦」は長屋の2軒分に加えて増築しているため面積が180㎡以上と規模が大きく、なかなか借り手がつかないできました。このため、当会では大家さんから借り受け、活用を図ることになりました。現在の計画では飲食店、SHOP、シェアオフィスなど複数の入居者でシェアする形で有効利用を図りたいと考えています。

今後、外部や共用スペースを改修した上で、入居者を募りサブリースする計画です。大家さんから借りる賃料とサブリースする賃料の差額で外部廻りや共用部の工事に必要な初期投資を十年間かけて回収するという事業計画を考えています。

入居者は、アート、ものづくりに携わるクリエイティブな若い世代を積極的に誘致し、特徴ある界隈を路地全体で創っていきたくと思っています。また同時に、横丁の人々のつながりを大切にしたい和気あいあいとしたコミュニティを再生させたいと考えています。

改修工事等の初期投資に必要な資金について、ぜひ皆様のご支援を賜りたく、セルフでクラウドファンディングを立ち上げました。ぜひご協力のほど、宜しくお申し込み申し上げます。

【お問合せ先】

(NPO) 川越蔵の会  
事務局

E-Mail : [cloud-fd@kuranokai.org](mailto:cloud-fd@kuranokai.org)

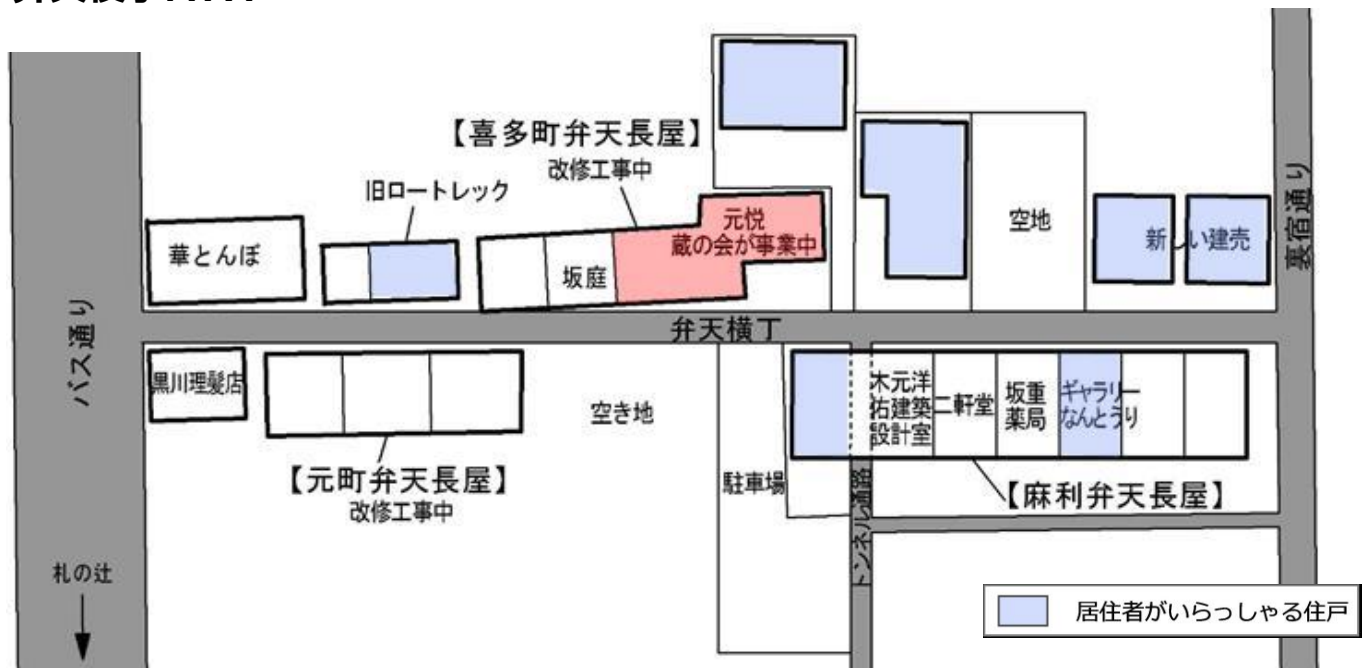
住所 : 〒350-0062 川越市元町 1-12-2 TEL/FAX:049-222-2330

(電話は事務局開設日のみ。HPの「スケジュール」をご覧ください。)

HP : [www.kuranokai.org](http://www.kuranokai.org)



## 弁天横丁MAP



### 【長屋の佇まいを大切に 古くて新しい文化発信エリアに】

長屋では、同じ屋根の下で生活する人々のつながりを大切に  
にしたコミュニティから生まれる、昔ながらの和気あいあい  
とした下町生活文化があります。この弁天横丁を、一番街と  
も菓子屋横丁とも異なる、アート・ものづくりを志す若者た  
ちを主人公にした新しい文化エリアとして再生したいと考  
えています。

### 【弁天横丁の歴史】

蔵造りの町並みのすぐ北、元町一丁目(旧町名＝本町)の  
通りの1本北側にある通称弁天横丁は、細い路地を挟んで古  
い長屋が軒を連ねる川越の中でも独特な雰囲気のある横丁  
です。明治26年の川越大火以後に形成された路地です。長  
屋には芸者さんが住み、置屋という芸者さんを料亭などに差  
し向けるお店もあり、往時は芸者横丁と言われていました。  
そのうち芸者さんたちがそれぞれ飲食店を始めて、長屋の1  
階が飲み屋になっているところが何軒もありました。その  
後、飲み屋もおかみさんが亡くなったりして、昔からのお店  
が全て無くなってしまい、空き家が目立つようになりまし  
た。

川越蔵の会は、6年前に麻利弁天長屋という七軒長屋の一  
角を借りて、ギャラリーとしてリフォームを行い「ギャラリ  
ーなんとうり」がオープンしました。それ以降、同じ長屋に  
設計事務所や「CAFÉ&ギャラリー」二軒堂」が入居し、ま  
た喜多町弁天長屋にも「坂庭」という革製品の修理のお店が  
入居し、路地の様子が少しずつ変わってきつつあります。

## ■ ご支援のご協力について

- 改修工事等の初期投資に必要な資金について、広く一般の方からのご支援を募りたいと考え、ご支援の資金を少しでも有効に  
利用させていただこうと、セルフでクラウドファンディングを立ち上げました。今年度の工事費用、賃料、維持管理費用等の  
見込みとして820万円程度を予定しています。このうち約360万円を蔵の会の資金から拠出し、460万円をクラウドファン  
ディングで募集する目標としています。
- クラウドファンディングには以下の2コースがあります。
  - Aコース 1口5万円の出資(年1割ずつ10年間で返済する無利子の貸借契約)
  - Bコース 寄付(金額は問いません)
- 出資者の皆さまへのささやかな特典として、進捗状況やイベントの企画などをお知らせさせていただく予定です。
- ご支援いただける方は、当会のホームページまたは別紙の「申込書」によりお申し込みください。